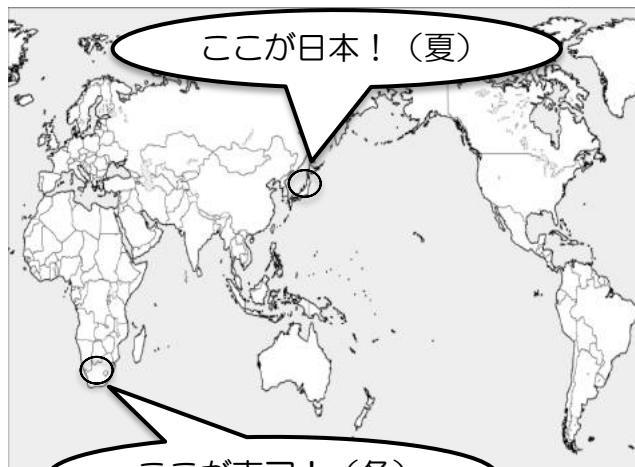




わたしは、さいたま市で教員きょういんをしている鈴木壮太すずき そうた もうと申します。この7月しちがつから、青年海外協力隊せいねんかいがいきょうりょくたいとして南アフリカ共和国みなみ きょうわこく なん（南ア）という国にきています。これから1年9ヶ月間、この国の小学校はたらで働くので、みなさんにこの新聞を通してアフリカのことを少しでも知ってもらえたら嬉しいうれです。

まず、南アフリカ共和国ってどこ!?



南アフリカ共和国は名前の通り、アフリカ大陸の南にあります。日本から飛行機で約20時間かかります。この国ではおよそ11個もの言語が使われています。そのため、生活していると色々な言語が聞こえてきます。

～スワジ語にチャレンジ～

今は、プレトリアという大きな街まちでスワジ語という言葉の勉強をしています。私がこれから行く小さな町の低学年の子どもたちは英語を話せず、スワジ語を使うからです。私はこれから、低学年はスワジ語、中、高学年は英語で授業をします。ちなみに、題名のSABONAは、“こんにちは”という意味です。たまに使ってみてください。

ところで、南アは都会なの!?

みなさん、アフリカというと野生のサイやキリンなどの動物がたくさんいるイメージがあるかもしれません。私もアフリカに着いたときはキョロキョロしながら野生の動物を探しました。しかし、小鳥こどりにしか会えませんでした。南アの首都しゅとはアフリカの中でも発展はってんしていて、日本と同じように何でもあります。大きなショッピングモールや、本屋、マクドナルド、映画館えいがくわんもあります。しかし、田舎いなかの方は発展していません。私はまだ都会の方にいますが、もう少しで田舎いなかに引っ越ひします。最近一度行って様子ようすを見に行きました。果たしてどんなところなのでしょう。野生の動物がたくさんいるのでしょうか。家のお湯は出るのでしょうか。スーパーはあるのでしょうか。次は田舎の様子と学校での出来事をお伝えします!



立派な本屋!



大きなモール!

次の新聞も読んでくださいね。

